

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 おひひろ ひろお 帯広・広尾自動車道（一般国道236号） なかさつないたいき 中札内大樹道路	事業区分	一般国道 国土交通省 主体 北海道開発局															
起終点 自：北海道河西郡中札内村字協和 至：北海道広尾郡大樹町北4線	延長 22.0km																
事業概要 帯広・広尾自動車道は、北海道横断自動車道帯広JCTから分岐し、帯広市・帯広空港を経由して広尾町に至る延長約80kmの一般国道の自動車専用道路であり、高速ネットワークを形成することにより、十勝圏域内の連携強化を図るものである。																	
H7年度事業化 H一年度都市計画決定 H一年度用地着手 H一年度工事着手																	
全体事業費 約276億円 事業進捗率 2% 供用済延長 0.0km																	
計画交通量 7,100台/日																	
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td></td> </tr> </table>	B/C	(事業全体)	1.6	(残事業)	1.6		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/ (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">254/ 254億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(事業費)</td> <td style="text-align: center;">204/ 204億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(維持管理費)</td> <td style="text-align: center;">50/ 50億円</td> <td></td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/ (事業全体)	254/ 254億円	(事業費)	204/ 204億円		(維持管理費)	50/ 50億円	
B/C	(事業全体)	1.6															
(残事業)	1.6																
総費用	(残事業)/ (事業全体)	254/ 254億円															
(事業費)	204/ 204億円																
(維持管理費)	50/ 50億円																
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/ (事業全体)</td> <td style="text-align: center;">403/ 403億円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益)</td> <td style="text-align: center;">284/ 284億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行経費減少便益)</td> <td style="text-align: center;">90/ 90億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益)</td> <td style="text-align: center;">29/ 29億円</td> <td></td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/ (事業全体)	403/ 403億円	(走行時間短縮便益)	284/ 284億円		(走行経費減少便益)	90/ 90億円		(交通事故減少便益)	29/ 29億円				
総便益	(残事業)/ (事業全体)	403/ 403億円															
(走行時間短縮便益)	284/ 284億円																
(走行経費減少便益)	90/ 90億円																
(交通事故減少便益)	29/ 29億円																
基準年 平成16年																	
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.7(交通量+10%) B/C=1.5(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.5(事業費+10%) B/C=1.7(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.6(事業期間+20%) B/C=1.6(事業期間-20%)																	
事業の効果等 ・物流効率化の支援（農林水産品の流通利便性向上が見込まれる） ・国土・地域のネットワークの構築（日常活動圏の中心都市へのアクセスの向上が見込まれる） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） 他8項目に該当																	
関係する地方公共団体等の意見 帯広広尾自動車道は、高速道路網の形成による物流、観光等の地域産業の支援と地域間交流の促進のほか、医療面からも重要な役割を果たすことが期待されており、1市5町3村の首長などで構成される高規格幹線道路帯広・広尾自動車道早期建設促進期成会などにより早期整備の要望を受けている。																	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成15年3月に帯広・広尾自動車道 帯広JCT～帯広川西IC間の供用を開始。																	
事業の進捗状況、残事業の内容等 中札内大樹道路は、平成7年度に事業化し、以後、予備設計、環境調査、コスト縮減のためのルート・構造などの検討を行ってきた。																	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 帯広JCTから段階的供用を図るべく順次整備を進めてきており、今後は、設計協議、環境調査、実施設計を進め、早期の工事着手を行い、平成20年代中頃の完成を予定している。																	
施設の構造や工法の変更等 車線数を4車線から2車線に見直すことによるコスト縮減に取り組むとともに設計方法の見直し、新技術の活用などのコスト縮減を推進する。																	
対応方針 事業継続																	
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。																	
事業概要図																	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。